



国際ロータリー 第 2780 地区 第9グループ
湯河原ロータリークラブ 週報

2023年7月21日(金) 第2928回例会 形式:対面 天候:晴れ
合唱:君が代、奉仕の理想、四つのテスト



世界に希望を生み出そう

会長 佐藤 友彦 幹事 櫻井 武志

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

佐藤 友彦

皆さん、こんにちは。本日の例会はガバナー公式訪問となり、田島敏久ガバナーに於かれましては遠路、相模原より当クラブの例会にお越しいただき誠にありがとうございます。心より歓迎致します。また、井上 AG に於かれましても先週に引き続きお越しいただき重ねて御礼を申し上げます。

さて、本日はロータリーの目的にもあります奉仕についてお話ししたいと思います。奉仕活動は大きく二種類に分ける事が出来ると思います。まずは災害ボランティア等、自らの時間と体を使う奉仕。そしてもう一つが気持ちはあるが仕事等の時間的制約があり実際に労力を提供できない方が寄付にて貢献する事です。本日はロータリーでも積極的に行っている寄付について少しお話致します。

我が国、日本における個人寄付の金額はここ10年で約2.5倍となり、金額が増加した理由はいくつかありますが、一番大きな理由は2011年に発災した東日本大震災であります。国民の多くが被災地には行けないけど、何か自分も力になりたいと被災地と被災者に心を寄せた行動が義援金の寄付でありました。また、その他の理由としては税制改革となります。その中でも近年ふるさと納税での寄付金額が全体の約50%におよびます。このように国内での寄付は増加している一方で世界的にみると日本は寄付に対して決して積極的ではありません。世界で最も寄付額が多い国はアメリカです。個人での寄付額を比較すると日本はアメリカの30分の1です。また、GDPベースでの比較では6分の1となります。また、ロータリーにおいても寄付額が最も多い国もアメリカとなります。では、アメリカがなぜ寄付に積極的かという単純に税制優遇が大きい点、そして文化的な要素があります。アメリカは多くのキリスト教の信者がいます。富を持つものが貧しい人に分け与えるべきというキリストの精神と地上にあるもの全てが主のもので人間はそれ(財産)を管理する立場であり管理するものの10分の1は主に返すようにと聖書に書かれている事が大きな理

由として考えられます。そのような理由から多くの著名人や財を成した方が積極的に献金を行います。そして意外にもロータリーで寄付をする人が一番多いのはミャンマーです。この点も仏教の国という事で日常の中に寄付が根付いております。いづれにしても、私たちもクラブの年会費にロータリー財団と米山奨学金の寄付が含まれていますが、会費に含まれている事で寄付をしている意識が少し薄れてしまうのも確かです。100円でも100万円でも寄付をするという気持ちは同じです。寄付は気持ちで行う行為です。私も今後はさらに積極的に寄付をしていきますので皆様もご協力ください。

本日は長丁場になりますが最後まで宜しくお願い申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

ガバナーより

1. 2023-2024 国際ロータリー第 2780 地区
米山奨学セミナー/世話クラブカウンセラー・クラブ米山担当者 研修会のお知らせ

日時:8月20日(日)14時~17時

場所:藤沢相澤ビル8回 登録締め切り:8月10日(木)

スマイルボックス

会員誕生日 石川 博君(7/22)

第9グループガバナー補佐 井上勝典君(足柄 RC)

本日は、ガバナー公式訪問で共々、例会に参加させて頂きます。宜しくお願い致します。追伸 少々緊張しております。

佐藤友彦君

田島ガバナー、本日は遠方よりお越しいただき有難うございます。宜しくお願い致します。

櫻井武志君

田島ガバナー、本日は湯河原まで足をおはこびいただきありがとうございます。

伊藤伸之君

ガバナー、ガバナー補佐、本日は御指導宜しくお願ひ致します。

高杉尚男君

17日(月)に社員日帰りバス旅行で山梨県の勝沼に行ってきましたが、なんとその日は勝沼の気温が日本で一番熱い38.9℃でした。

石川浩子君・葉維英君・丸塚順子君

6月22日の総会にて土肥会の理事に就任させて頂きました。

安江仁孝君

交友(早稲田大学人間科学部通信教育課程)の市川沙央さんが芥川賞を受賞されました。

石田浩二君

本日はホテル城山をご利用くださり誠に有難うございます。何かありましたら遠慮なくお申し付けください。

出席報告

ゲスト 0名 ビジター 3名

会員 21名 欠席1名(免除者0名)

出席率 95.24%

前回の修正出席率 90.48%

前々回の修正出席率 90.00%

事前メイクアップ 1名

ビジター

RID2780 ガバナー 田島敏久君(相模原西RC)

第9グループガバナー補佐 井上勝典君(足柄 RC)

小牧直樹君(相模原かめりあ RC)

卓話

RID2780地区 2023-24年度 ガバナー 田島 敏久 君

田島ガバナーの卓話では、RI 国際協議会でのゴードン・R・マッキナリーRI 会長の演説映像とその説明がなされました。この週報ではゴードン会長による「会長イニシアチブ映像」についての書き起こしを掲載いたします。

世界中のロータリー会員の皆様、こんにちは。2023-24年度ロータリー会長を務められることを光栄に感じています。これからの1年間、ポリオ根絶のために前進し、ロータリー重点分野における奉仕プロジェクトを通して世界に希望を生み出していきます。

しかしこの機会をお借りして、この年度にロータリーが変化を生み出すもう一つの重要な方法についてお話しします。そ

れはメンタルヘルスに力を入れることです。

今、多くの人たちが傷つき、助けを求める方法が分からずにあります。あらゆる年齢、あらゆる文化の人が安全な場所を必要としています。それは喜びを分かち合い、人生の課題について自由に話せる場所です。ロータリーはそのような場所になれるかもしれません。

私たちはロータリーで互いを気遣い、自分らしくいることを会員に奨励しています。それは単に「元気ですか」と訊くのではなく、「最近はいかがですか」と真摯に訊ねることです。

研究によると、思いやりのある行為に対し、人々は幸せを感じ、人生で直面するあらゆる課題に対応できるようになるために最も効果的であることが分かっています。

メンタルヘルスは私にとって重要な問題です。身近な人が声もあげられずに苦しんでいるのを見るのがいかに辛いかを私は知っています。

しかし私は人とつながりの力、心の健康について、自由に話せる場所の大切さ、そして予防ケアと治療が命を救うことをこの目で見てきました。

皆さん。ともに偏見を取り除き、啓発を行い、メンタルヘルスのサービスを利用しやすくするために取り組んでいきましょう。そうすれば互いを愛する人々を、クラブを、地域社会をサポートし、世界に希望を生み出すことができます。

ゴードン会長は今年度、世界に希望を生み出すために三つの会長イニシアチブ(メンタルヘルスの優先、バーチャル交換を通じた平和構築、女兒のエンパワメント)に焦点を当てています。合わせて会長は、私達が住みたいと思うような世界の実現のために、以下の方法を示しています。

- ・心の健康の問題に伴うスティグマ(偏見)の解消
- ・メンタルヘルスのニーズに関する認識の向上
- ・メンタルヘルスの支援や治療へのアクセス改善

(文:会報委員会)

